

イチ押し！

2018

テキストガイド

【人文・社会】

*「人文・社会」分野のテキストで、オススメしたい商品・採用出荷数の多い商品などをピックアップしてご紹介いたします。テキスト指定のご検討の際、ぜひともお役立てください。採用見本献本も承っております。お気軽にご用命ください。（献本のお申込みは最終頁でご案内しております）

★ = 入門書, ♣ = 標準的テキスト, ♠ = 体系書・基本書

 …… 各分野で採用出荷数の多い「BEST5」のテキストです

 …… 2017年1月以降に刊行された新しいテキストです

 …… ウェブサポートを提供しているテキストです

 …… 2色刷のテキストです

 …… 頁数が比較的少なめの、読み切りサイズのテキストです

 …… スライド資料（PowerPointファイル）を提供しているテキストです

【社会学・社会福祉】

社会学入門	4
社会学の力	5
メディア社会論	6
質的社会調査の方法	6
はじめてのジェンダー論	7
ファッションで社会学する	7
映像文化の社会学	8
排除と差別の社会学(新版)	8
問いからはじめる 社会福祉学	9
援助関係論入門	9

【心理】

有斐閣テキスト× 公認心理師学部カリキュラム 対応表	10・11
公認心理師 エッセンシャルズ	12
心理学(新版)	12
行動分析学	13
英語で学ぶ社会心理学	14
心理調査の基礎	14

【教育・教養】

ベストをつくす教育実習	15
教育をよみとく	16
はじめての子ども教育原理	17
殻を突き破る キャリアデザイン	17
新しい時代の教育課程(第4版)	18
新しい時代の生涯学習(第3版)	18
大学1年生のための 伝わるレポートの書き方	19
大学での学びをアクティブにする アカデミック・スキル入門	19
大人のための社会科	20
ウェブサポートサービス, 採用見本献本お申込みのご案内	20

有斐閣 教科書採用ランキング2017

社会学・社会福祉BEST5

1



はじめての社会保障
第14版
原野美智子・田中耕太郎 著
(本体1800円+税)

2



**問いからはじめる
家族社会学**
岩間暁子・大和礼子・
田間泰子 著
(本体1800円+税)

3



社会学のエッセンス
新版補訂版
友枝敏雄・
竹沢尚一郎・
正村俊之・
坂本佳鶴恵 著
(本体2000円+税)

4



**障害者福祉の
世界**
第5版
佐藤久夫・
小澤 温 著
(本体2100円+税)

5



**Do!
ソシオロジー**
改訂版
友枝敏雄・
山田真茂留 編
(本体1800円+税)

* 2017年2月～11月の有斐閣採用品出荷データによる。

心理BEST5



はじめて出会う心理学

改訂版

長谷川寿一・東條正城・
大島 尚・丹野義彦・廣中直行 著
(本体2000円＋税)



やさしい教育心理学

第4版

鎌原雅彦・竹綱誠一郎 著
(本体1900円＋税)



心理学・入門

サトウタツヤ・
渡邊芳之 著
(本体1900円＋税)



問いからはじめる 発達心理学

坂上裕子・
山口智子・
林 創・
中間玲子 著
(本体1800円＋税)



認知心理学

新版

道又 爾・
北崎充晃・
大久保街亜・
今井久登・
山川恵子・
黒沢 学 著
(本体2100円＋税)

*2017年2月～11月の有斐閣採用品出荷データによる。

教育・教養BEST5



やさしい教育原理

第3版

田嶋 一・中野新之祐・
福田須美子・狩野浩二 著
(本体1900円＋税)



新しい時代の 教育課程

第3版

田中耕治・水原克敏・
三石初雄・西岡加名恵 著
(本体1900円＋税)



はじめて出会う 生命倫理

玉井真理子・
大谷いづみ 編
(本体1900円＋税)



新しい時代の 教職入門

改訂版

秋田喜代美・
佐藤 学 編著
(本体1900円＋税)



アカデミック・ スキル入門

伊藤奈賀子・
富原一哉 編
(本体1700円＋税)

*2017年2月～11月の有斐閣採用品出荷データによる。

筒井淳也・前田泰樹 著



社会学入門

社会とのかかわり方

有斐閣ストゥディア A5判 276頁 本体1900円＋税 978-4-641-15046-1

- ・計量手法と質的研究という対照的な方法から、考え方を解説。
- ・誰もが体験しうる「人生のイベント」について取り上げる。
- ・手法の違いと議論の位置づけから学問の奥行きを感じられる。

目次

序章	人と「社会」とのかかわり方	第5章	病い・老い
第1章	出生	第6章	死
第2章	学ぶ／教える	第7章	科学・学問
第3章	働く	終章	「社会」と人との かかわり方
第4章	結婚・家族		



2017年10月刊

ここがポイント！

- ・社会を「理解」という角度から社会学を学んでいこう、という入門テキストです。
- ・各章の中で計量社会学と質的研究双方の視点を比べて、社会を立体的に理解する力を養います。
- ・具体的な研究の紹介から、実際の現実について実践的に考えることを促します。

KEYWORD

他論 理解 社会学 方法 近代化 計量社会学 社会変動 社会記述 概念 日常生活 質的研究

1 「社会を理解する」というかかわり方

私たちは、社会のなかで、たくさんの他者と一緒に暮らしています。この社会への、私たちの「かかわり方」にはさまざまなものがあるでしょう。「かかわる」というと積極的な響きがあります。社会を実際に変革するような試みを思い浮かべる人もいるかもしれません。ただ、私たちは何か行動を起こす前に、多かれ少なかれ社会、あるいはそこで生じることのことを「理解」しています。

ただ、よくわからないことも、もちろんたくさんあるでしょう。たとえば、「日本人は働きすぎだ」といわれています。このこと自体はみなさんの「日本」社会についての理解の一つとして存在しているでしょう。しかし、日本人がどれくらい働きすぎなのか、なぜ働きすぎなのかといえば、ちゃんとした理解をしている人はそれほど多くないかもしれません。

私たちは、実親から生まれ、学校に行き、仕事をし、もしかすると家族を持ち、場合によっては病いに倒れ、そしていつかは死んでいきます。この一つひとつのイベントについて、私たちはすでに多くのことを「知って」います。ただ、必ずしも深くは知らないでしょう。この「理解」を先にすすめる方法の一つが、学問です。社会学もその一つです。

2 数量データによる社会の記述

社会学という学問は、経済学や心理学と同じく、人間や社会にかかわる「間い」を科学的に追究する学問の一分野です。「社会学とはなにか」についての

2 ● 社会学入門 序 人と「社会」とのかかわり方

友枝敏雄・浜 日出夫・山田真茂留 編



社会学の力

最重要概念・命題集

A5判 312頁 本体2500円＋税 978-4-641-17430-6

- 社会学固有の概念、方法、命題の中で最重要70項目をセレクト。
- 見開き2ページが4ページでコンパクトに解説。
- この1冊で社会学の基礎から大学院入試試験準備まで対応。

目次

第I部 社会学の方法

「社会」の発見と社会学の誕生／社会的事実／存在と当為 ほか

第II部 概念構成——概念によって社会をとらえなおす

【ミクロ社会学】自我と自己／行為類型／エスノメソドロジー ほか

【メゾ社会学】支配と権力／感情労働と疎外／社会的承認 ほか

【マクロ社会学】規範と制度／大衆社会／公共性と市民社会 ほか

第III部 命題構成——社会のメカニズムとトレンド

【メカニズム】社会統合と自殺／予言の自己成就／ラベリング ほか

【トレンド】世俗化／啓蒙の弁証法／情報化／個人化／液化化 ほか



2017年6月刊

- 「第III部 命題構成」では冒頭に命題を3～4行で明示します。
- 見開き2～4ページの解説の中で、主要な基礎概念・理論を明快に解説し、さらに現代的アクチュアリティにも触れています。

ここがポイント!

56 地位の一貫性・非一貫性と政治的態度

地位の一貫性は、政治的態度として、人々に重要なものとする権威主義を促進する場合と、まったく逆に権威作用としての現状への満足を生み出す場合とがある。

地位の一貫性・非一貫性とは何か

地位の一貫性・非一貫性を説明する前提として、社会的資源、社会階級、社会移動を定義しておく。社会的資源とは、社会の活動に必要な財の総称であり、物質的資源（食料、貨幣財）、精神的資源（権力、威信）、文化的資源（知識、情報）からなる。社会的資源の多くは稀少であるという性格をもつ。それは社会的資源を社会全体にどのように分配するかというこはきわめて重要になってくる。どのような分配原理に基づけば、社会的資源の不均衡を分配することが多い。その結果、社会全体では社会的資源を多く保有する人とならうでない人が生み出される。社会的資源が不均等に分配され、格差が生じている状態を社会階級もしくは階級構造という。

社会移動とは、異時点間における個人、家庭、集団の空間的な移動と社会的地位の変化（階級の移動）との2つを意味している。社会的地位の変化は、近代社会において、社会的資源分配の原理として属性主義よりも業績主義が優勢になるにつれて発生する現象である。個人の社会的地位が上昇するかそれとも下降するか。そもそも階級構造が流動的なのかどうかということが、社会階級・社会移動研究の中心的なテーマになっている。

地位の一貫性・非一貫性に関する研究は、社会階級・社会移動研究の中心テーマとしてきた。社会的資源は、社会的地位の構成要素であり、すでに述べたように規範の次元にかなる。したがって社会的地位もまた今日では規範の次元から測定されている。今日、星（1959）では、社会的地位を測定する変数（地位測定）として、教育（学歴）、所得、職業威信、財産、地域能力、生活様式の6つを挙げている。地位一貫的な人とは、これら6つの地位がすべて高い人（上層一貫）、中程度の人々（中間一貫）、すべて低い人々（下層一貫）のことである。

249 異時点間 非階級性（メカニズム）

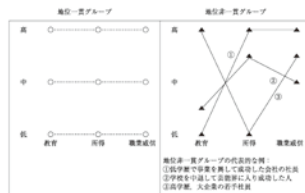


図1 地位の一貫性・非一貫性

これに対して地位非一貫的な人とは、ある地位階級は高いけれど、他の地位階級は低かったり、中程度である人々のことである。

6つの地位階級では複雑なので、6つの地位階級の中でもっとも代表的な教育、所得、職業威信の3つを以て、地位一貫的な人々と地位非一貫的な人々を提示すると、図1のようになる。

「政治的権威主義への傾向」命題

地位の一貫性・非一貫性研究で焦点化されてきたテーマは、次の3つである。第1は、地位の一貫性・非一貫性が政治的態度に与える影響を及ぼすかというテーマである。第2は、戦後日本社会では、そもそも地位一貫的な人々と非一貫的な人々のどちらが多いのかというテーマであり、第3は、日本社会では、地位の一貫性・非一貫性と政治的態度とはいかなる関係にあるのかというテーマである。第1のテーマが階級間の移動が発生した近代以降の社会に普遍的に当てはまるテーマであるのに対して、第2、第3のテーマは地位の一貫性・非一貫性を日本社会に即して焦点化したテーマである。

まず第1のテーマについては、レンスキーがアメリカ社会を対象にして行った研究が有名である（Lansky 1964）。彼によると、地位非一貫的な状態にな

図1 地位の一貫性・非一貫性と政治的態度 241

辻 泉・南田勝也・土橋臣吾 編



メディア社会論

有斐閣ストゥディア A5判 予定220頁 予価1800円+税

Compact

- ・スマホ、SNSなど身近なものから、ビッグデータ、ポストトゥルースなどニュースで目にするものまで、私たちをとりまく「メディア」と社会との関係を一から学べるテキスト。
- ・ブックガイドなど学びのツールも充実。

目次

- 第1章 メディア社会論のために
- 第I部 メディアの来歴(過去編):流動化
- 第2章 ネットワーク化の来歴/第3章 モバイルデバイスの来歴/
第4章 コンテンツメディアの来歴
- 第II部 メディアの功罪(現在編):個人化
- 第5章 ソーシャルメディアの功罪/第6章 デジタルコンテンツの功罪
第7章 ネット広告の功罪/第8章 ユビキタス/ビッグデータの功罪
- 第III部 メディア社会の構想(未来編):再帰化
- 第9章 変わりゆくリアリティ/第10章 変わりゆくコンテンツ/
第11章 変わりゆくテクノロジー



Now Printing

2018年4月刊行予定

岸 政彦・石岡丈昇・丸山里美 著

質的社会調査の方法

他者の合理性の理解社会学

有斐閣ストゥディア A5判 272頁 本体1900円+税 978-4-641-15037-9

- ・調査者が実際におこなう社会調査のコツや要点を惜しみなく伝授します。
- ・質的研究を通し、社会学を身につけるときのポイントや力点がわかります。
- ・読みながら感じ、考え、いつのまにか議論の深みに読者をいざなう教科書。

目次

序 章 質的調査とはなにか

- 1 社会学と社会調査 2 社会学における「データ」とは何か
3 量的調査と質的調査 4 質的調査とは 5 「質的」とはどうか
6 「他者の合理性」の理解社会学

第1章 フィールドワーク

- 1 フィールドワークとは 2 テーマ設定 3 フィールドワークをする
4 データ分析と論文の執筆 5 フィールドワーク—まだ見ぬ他者と自分に出会う

第2章 参与観察

- 1 「気分」からの立論 2 調査の中から問題設定を立てる
3 フィールドへの没入 4 論文執筆 5 参与観察—リアルタイムの社会認識

第3章 生活史

- 1 人生の語りを聞く 2 生活史調査の歴史 3 実際にやってみる
4 生活史を「研究」する 5 最後に—生活史は「それ自体で面白い」

質的社会調査の方法

岸政彦・石岡丈昇・丸山里美 著



2016年12月刊

加藤秀一 著

New はじめてのジェンダー論

有斐閣ストウディア A5判 238頁 本体1800円＋税 978-4-641-15039-3



- ・講義の実況中継のような軽妙な語り口の文体で、予備知識ゼロの人でも、すらすら読める。
- ・水準の高い最新のジェンダー研究を魅力的に紹介する。
- ・徹底的に論理的に考える、章構成もまったく新しいジェンダー入門。

目次

- 第1章 ジェンダーとの遭遇
- 第2章 「女」「男」とは誰のことか
- 第3章 性別という壁を乗り越える人々
- 第4章 ジェンダーは性と愛をもつづける
- 第5章 「男なんだから、男らしくすべき」は論理じゃない
- 第6章 科学や数学は女には向いていない？
- 第7章 ジェンダーの彼方の国はどこにある
- 第8章 男が少女マンガを読むのは恥ずかしい？
- 第9章 〈被害者〉の視点と〈加害者〉の視点
- 第10章 「わいせつ」と「レイプ」は同じ罪なのか
- 第11章 「女性差別は終わった」という残念な妄想
- 第12章 ワーク・ライフ・バランスを阻むものは何か
- 第13章 女は子どもを産んで一人前？



2017年4月刊

藤田結子・成実弘至・辻 泉 編

New ファッションで社会学する★

四六判 308頁 本体2300円＋税 978-4-641-17431-3

- ・社会的な考え方の基礎が身につく間口の広い入門テキスト。
- ・題材がファッションなので、若者が興味をもちやすい内容。
- ・方法や理論の紹介も簡潔に、最新のトピックまで議論します。

目次

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 序章 ファッションで社会学する | 第6章 コスプレとサブカルチャー |
| パートI メディア | パートIII 都市・流行 |
| 第1章 女性ファッション誌を読みとく | 第7章 ファッションのしくみ |
| 第2章 男性ファッション誌を解説する | 第8章 ストリートファッション |
| 第3章 ファッション誌の歴史 | 第9章 ファストファッション |
| パートII 身体・アイデンティティ | パートIV グローバリゼーション |
| 第4章 外見と自分らしさ | 第10章 国境を越えるデザイナー |
| 第5章 ジェンダーを“する” | 第11章 ファッションモデルの仕事から |



2017年7月刊

長谷正人 編

映像文化の社会学

単行本 A5判 302頁 本体2400円＋税 978-4-641-17424-5

- 写真、テレビ、監視カメラ、インスタグラムなど、身近な映像文化を解説。
- 社会学ならではのおもしろい視点と読み解き方がわかる。
- 豊富な写真や図版により、見るのも楽しいテキスト。

目次

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 序章 映像文化という
パースペクティブ(長谷正人) | 第7章 社会をつくる映像文化1
(長谷正人) |
| 第1部 テクノロジーとしての映像文化 | 第8章 社会をつくる映像文化2
(大久保 遼) |
| 第1章 写真というテクノロジー
(菊池哲彦) | 第3部 科学としての映像文化 |
| 第2章 映画というテクノロジー
(長谷正人) | 第9章 医療における映像文化
(増田展大) |
| 第3章 テレビというテクノロジー
(加藤裕治) | 第10章 警察と軍事における映像文化
(松谷容作) |
| 第4章 パソコンというテクノロジー
(鈴木洋仁) | 第11章 人類学における映像文化
(大久保 遼) |
| 第2部 コミュニケーションとしての
映像文化 | 第4部 呪術としての映像文化 |
| 第5章 個人をつくる映像文化
(菊池哲彦) | 第12章 スターという映像文化
(加藤裕治) |
| 第6章 コミュニケーションを
つくる映像文化(角田隆一) | 第13章 心霊現象という映像文化
(前川 修) |
| | 第14章 アニメーションという映像文化
(増田展大) |

映像文化の社会学

長谷正人 編



2016年10月刊

好井裕明 編

排除と差別の社会学 新版

選書 四六判 346頁 本体2200円＋税 978-4-641-28140-0

- 日常のさまざまな場面で生じている「排除」や「差別」の問題を社会学の視点からとらえる。
- 「マタハラ」やヘイトスピーチなど、最新の問題を加えて新版化。

目次

- | |
|--------------------------------|
| 第1部 排除や差別という現象から世の中を考える |
| 第1章 排除と差別の社会学を考える2つの基本 |
| 第2章 部落差別の今は……? |
| 第3章 「当事者」は差別や排除を語るのか? |
| 第2部 個別の問題を手がかりとして |
| 第4章 「身体」をあたりまえに生きるために |
| 第5章 「ひきこもり」からの問題提起 |
| 第6章 学校空間における排除と差別 |
| 第7章 解放の政治から生成の政治へ |
| 第8章 女性カップルの子育てと願望への反発に見る排除のかたち |
| 第9章 モザイクとしての「障害者問題」 |
| 第10章 「ユニークフェイス」から「見た目問題」へ |
| 第11章 「民族」との向きあい方 |
| 第12章 「復興災害」の空間と多文化的現実 |
| 第13章 原爆問題について自由に思考を巡らすことの困難 |
| 第14章 原発事故による避難について考えるために |

排除と差別の社会学 新版

好井裕明 編



「排除」や「差別」は、
「自分とは関係のないこと」
だろうか?

2016年9月刊

坪 洋一・金子 充・室田信一 著

問いからはじめる 社会福祉学



不安・不利・不信に挑む

有斐閣ストゥディア A5判 254頁 本体1900円＋税 978-4-641-15030-0



- ・身近な事例と疑問からはじめる、社会福祉の学びの最初の一步。
- ・「知る」「考える」「挑む」の3節構成で問題の本質に迫る。
- ・「QUESTION」「POINT」などのツールで読者の学びを手助け。

目次

序 章 社会福祉学への招待	第5章 健康の不利
第1部 「不安」と社会福祉	第6章 参加の不利
第1章 若者の雇用不安	第3部 「不信」と社会福祉
第2章 育児不安	第7章 市場経済への不信
第3章 老後の不安	第8章 権力への不信
第2部 「不利」と社会福祉	第9章 他者への不信
第4章 教育の不利	終 章 社会福祉学の魅力を考える



2016年1月刊

稲沢公一 著

New 援助関係論入門

「人と人との」関係性

有斐閣アルマ 四六判 216頁 本体1900円＋税 978-4-641-22100-0



- ・誰かを助ける職業をめざすすべての人に、身につけてほしい考え方や技法をコンパクトに解説。
- ・なぜ人は人を助けなければならないのか?という基礎の基礎からいねいに考えていきます。

目次

第1章 援助を構成する3要素	第8章 援助関係論はどのように発展してきたのか
第2章 援助の「必要条件」	第9章 援助過程がめざすところ
第3章 何が援助の対象なのか	第10章 「人と人との」関係性
第4章 「援助対象」を構成するもの	第11章 「無力」であること
第5章 4つの援助モデル	第12章 なぜ、人は人を助けるのか
第6章 他なる人	
第7章 援助関係の4性質	



2017年6月刊

学部カリキュラム科目名	書名	著者	シリーズ/判型	レベル
公認心理師の職責	公認心理師エッセンシャルズ(2018年2月刊行予定)	子安増生・丹野義彦 編	A5判	★
心理学概論	ゼロからはじめる心理学・入門－人の心を知る科学	金沢 創ほか 著	有斐閣ストゥディア	★
	対人援助と心のケアに活かす心理学	鈴木伸一 編	有斐閣ストゥディア	★
	はじめて出会う心理学 改訂版	長谷川寿一ほか 著	有斐閣アルマ	★
	心理学・入門－心理学はこんなに面白い	サトウタツヤ・渡邊芳之 著	有斐閣アルマ	★
	心理学 新版	大山 正ほか 著	有斐閣双書	♣
	サイコロジー事始め	金児暁嗣 編	有斐閣ブックス	★
	心理学をつかむ	今井久登ほか 著	テキストブックス[つかむ]	♣
	心理学 新版 (2018年春刊行予定)	無藤 隆ほか 著	NLAS	♠
	新・心理学の基礎知識	中島義明ほか 編	有斐閣ブックス	♠
	流れを読む心理学史－世界と日本の心理学	サトウタツヤ・高砂美樹 著	有斐閣アルマ	♣
臨床心理学概論	臨床心理学の世界	菅佐和子ほか 著	有斐閣アルマ	★
	臨床心理学入門－多様なアプローチを越境する	岩壁 茂ほか 著	有斐閣アルマ	♣
	臨床心理学	坂野雄二ほか 編	ベーシック現代心理学	♣
	臨床心理学	丹野義彦ほか 著	NLAS	♠
	臨床心理学キーワード 補訂版	坂野雄二 編	有斐閣双書キーワード	★
心理学研究法	心理学研究法－心を見つめる科学のまなざし 補訂版	高野陽太郎・岡 隆 編	有斐閣アルマ	♣
	心理調査の基礎	日本心理学会 監修	A5判	♣
	心理学・倫理ガイドブック－リサーチと臨床	日本発達心理学会 監修	四六判	✳
心理学統計法	心理統計学の基礎－統合的理解のために	南風原朝和 著	有斐閣アルマ	♣
	続・心理統計学の基礎－統合的理解を広げ深める	南風原朝和 著	有斐閣アルマ	♣
	心理統計学ワークブック－理解の確認と深化のために	南風原朝和ほか 著	B5判	✳
心理学実験	心理調査の基礎	日本心理学会 監修	A5判	♣
知覚・認知心理学	基礎から学ぶ認知心理学－人間の認識の不思議	服部雅史ほか 著	有斐閣ストゥディア	★
	認知心理学－知のアーキテクチャを探る 新版	道又 爾ほか 著	有斐閣アルマ	♣
	認知心理学	箱田裕司ほか 著	NLAS	♠
	認知心理学キーワード	森 敏昭・中條和光 編	有斐閣双書キーワード	★
	認知心理学ハンドブック	日本認知心理学会 編	有斐閣ブックス	♠
学習・言語心理学	――			
感情・人格心理学	感情心理学・入門	大平英樹 編	有斐閣アルマ	★
	パーソナリティ心理学－人間科学, 自然科学, 社会科学のクロスロード	榎本博明ほか 著	有斐閣アルマ	♣
	パーソナリティの心理学	岡田康伸ほか 著	ベーシック現代心理学	♣
神経・生理心理学	――			
社会・集団・家族心理学	複雑さに挑む社会心理学－適応エージェントとしての人間 改訂版	亀田達也・村田光二 著	有斐閣アルマ	♣
	進化と感情から解き明かす 社会心理学	北村英哉・大坪庸介 著	有斐閣アルマ	♣
	社会心理学	明田芳久ほか 著	ベーシック現代心理学	♠
	社会心理学	池田謙一ほか 著	NLAS	♠
	はじめての臨床社会心理学－自己と対人関係から読み解く臨床心理学	坂本真士・佐藤健二 編	四六判	★
	社会心理学キーワード	山岸俊男 編	有斐閣双書キーワード	★
	家族心理学－家族システムの発達と臨床的援助	中釜洋子ほか 著	有斐閣ブックス	♣

★＝入門書，♣＝標準テキスト，♠＝体系書・基本書，✱は参考書／テーマ本

学部カリキュラム科目名	書名	著者	シリーズ／判型	レベル
発達心理学	やさしい発達と学習	外山紀子・外山美樹 著	有斐閣アルマ	★
	問いからはじめる発達心理学－生涯にわたる育ちの科学	坂上裕子 ほか 著	有斐閣ストゥディア	★
	発達心理学	岩田純一 ほか 著	有斐閣Sシリーズ	♣
	生涯発達心理学－認知・対人関係・自己から読み解く	鈴木 忠 ほか 著	有斐閣アルマ	♣
	乳幼児のこころ－子育て・子育ての発達心理学	遠藤利彦 ほか 著	有斐閣アルマ	★
	育ちあう乳幼児心理学－21世紀に保育実践とともに歩む	心理科学研究会 編	有斐閣コンパクト	★
	はじめて学ぶ乳幼児の心理－こころの育ちと発達の支援	櫻井茂男 編	有斐閣ブックス	♣
	子どものこころ－児童心理学入門 新版	櫻井茂男 ほか 著	有斐閣アルマ	★
	やさしい青年心理学 新版	白井利明 ほか 著	有斐閣アルマ	★
障害者・障害児心理学	老いのこころ－加齢と成熟の発達心理学	佐藤真一 ほか 著	有斐閣アルマ	♣
	発達障害の心理臨床－子どもと家族を支える療育支援と心理臨床的援助	田中千穂子 ほか 著	有斐閣アルマ	★
心理的アセスメント	「自尊心」を大切にしたい高機能自閉症の理解と支援	別府 哲・小島道生 編	有斐閣選書	✱
	子どもの理解と支援のための発達アセスメント	本郷一夫 編	有斐閣選書	♣
心理学的支援法	人生にいかすカウンセリング－自分を見つめる 人とつながる	諸富祥彦 編	有斐閣アルマ	★
	カウンセリング・心理療法の基礎－カウンセラー・セラピストを目指す人のために	金沢吉展 編	有斐閣アルマ	♣
	カウンセリングの技法を学ぶ	玉瀬耕治 著	A5判	♠
	つなぐ心と心理臨床	前川あさ美 著	有斐閣選書	♣
	発達障害の心理臨床－子どもと家族を支える療育支援と心理臨床的援助	田中千穂子 ほか 著	有斐閣アルマ	★
	ロジャース クライアント中心療法－カウンセリングの核心を学ぶ新版	佐治守夫・飯長喜一郎 編	四六判	✱
健康・医療心理学	健康心理学－入門－健康なこころ・身体・社会づくり	島井哲志 ほか 著	有斐閣アルマ	♣
福祉心理学	老いのこころ－加齢と成熟の発達心理学	佐藤真一 ほか 著	有斐閣アルマ	♣
教育・学校心理学	やさしい教育心理学 第4版	鎌原雅彦・竹綱誠一郎 著	有斐閣アルマ	★
	教育心理学 新版	北尾倫彦 ほか 著	有斐閣新書	★
	教育心理学	無藤 隆 ほか 著	有斐閣Sシリーズ	♣
	教育心理学 第3版	子安増生 ほか 著	ベーシック現代心理学	♣
	中学・高校教師になるための教育心理学 第3版	心理科学研究会 編	有斐閣選書	♣
	教育心理学ハンドブック	日本教育心理学会 編	A5判	♠
	教育心理学キーワード	森 敏昭・秋田喜代美 編	有斐閣双書キーワード	★
	教師のための学校カウンセリング	小林正幸 ほか 編	有斐閣アルマ	♣
	学校臨床心理学－入門－スクールカウンセラーによる実践の知恵	伊藤美奈子・平野直己 編	有斐閣アルマ	♣
司法・犯罪心理学	犯罪・非行の心理学	藤岡淳子 編	有斐閣ブックス	♣
	犯罪心理学－ビギナーズガイド：世界の捜査，裁判，矯正の現場から	R.フル ほか 著／仲 真紀子 監訳	四六判	♠
産業・組織心理学	経営とワークライフに生かそう！産業・組織心理学	山口裕幸 ほか 著	有斐閣アルマ	♣
	産業・組織心理学への招待	白樫三四郎 編	有斐閣ブックス	♣
	〈先取り志向〉の組織心理学－プロアクティブ行動と組織	古川久敬・山口裕幸 編	四六判	♠
人体の構造と機能及び疾病	――			
精神疾患とその治療	臨床心理学	丹野義彦 ほか 著	NLAS	♠
関係行政論	公認心理師エッセンシャルズ(2018年2月刊行予定)	子安増生・丹野義彦 編	A5判	★
心理演習	――			
心理実習	――			

子安増生・丹野義彦 編

New 公認心理師エッセンシャルズ★

A5判 予定220頁 予価1600円＋税 978-4-641-17436-8



- 公認心理師をめざす人に必須の知識と学ぶべきことがわかる。
- 入門から研修、国家試験まで、座右において便利に使える。
- 新科目「公認心理師の職責」や「関係行政論」のテキストとして最適。

目次

I部 公認心理師の学び

A 心理学基礎科目 B 心理学発展科目 C 実習演習科目 D 大学院で学ぶこと

II部 公認心理師の職責

1 心理的支援の歴史 2 公認心理師の役割の理解 3 公認心理師の法的義務 4 公認心理師の職業倫理 5 心理に関する支援を要する者等の安全の確保 6 守秘義務 7 情報共有 8～12 公認心理師の業務 13 問題解決能力と生涯学習

III部 関係行政論

1 法と制度を学ぶ意味 2 法律の基礎 3～5 保健医療分野 6,7 福祉分野 8,9 教育分野 10,11 司法・犯罪分野 12,13 産業・労働分野



Now Printing

2018年2月刊行予定

無藤 隆・森 敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治 著

New 心理学 新版

※書影は旧版のものです。

NLAS A5判 予定660頁 予価3800円＋税 978-4-641-05386-1



- 信頼と実績の本格的テキストが14年ぶりに新版化。
- 近年の研究の発展をふまえて刷新！一部の章を新たに書き下ろし。
- 大学4年間手元において、じっくり時間をかけてお読みください。

目次

第1部 心の仕組みと働き

心理学とは何か／心と脳／感覚と知覚／記憶／学習／言語／思考

第2部 心のダイナミズム

情動／動機づけ／性格／発達の基礎となるもの／認知と社会性の多面的な発達

第3部 社会のなかの心

人間と社会／社会的認知／自己／社会的影響／人間関係／集団

第4部 心の適応と臨床

発達の支援の基礎となる発達の個人差とは／発達の病理と心理・福祉・教育的援助／ストレスと心理的障害／カウンセリング／カウンセリングの実際／カウンセリング・心理療法と文化



2018年3月刊行予定

坂上貴之・井上雅彦 著

New 行動分析学

有斐閣アルマ 四六判 予定320頁 予価2100円＋税 978-4-641-22102-4

- 理論と実践の両面から丁寧に解説する、行動分析学の定番テキスト。
- 行動分析学の基礎から応用まで網羅した充実の章構成。

目次

- 第1章 心とは何か——行動分析学から接近する
- 第2章 観察法と実験法——行動を科学するために
- 第3章 生得性行動——経験によらない個体の行動とは
- 第4章 レスポンデント——環境の機能を変える方法を知る
- 第5章 オペラント——行動やその出現機会を作り出す方法を知る
- 第6章 強化随伴性——行動変容のための諸変数と規則
- 第7章 刺激性制御——はじめての環境に個体が出会うとき
- 第8章 反応遮断化理論と選択行動——強化と価値を考える
- 第9章 言語行動と文化随伴性——行動分析学から展望する



Now Printing

2018年1月刊行予定

CASE ② 心をめぐる言語活動による説明の例

- ・「心」「気」を含む用語による説明：親切心がないから高齢者に席を譲らない、心のこもった料理で気持ちが高くなる、心がけ次第で立派になれる、相手にそういわれればそんな気がしてくる、性格の知らせに天にも上る気持ちであった。
- ・心的用語による説明：根性がないから成績が上がらない、頭とうとする態度があれば必ず勝つことができる、初めて異性への欲望に目覚めた。
- ・心的概念による説明：知能が高いので有名大学にいった、社交的な性格が多くの友誼を育てた。



POINT ① 行動を説明する3つの出来事

- ① 生得的出来事：生得的なもの（例：よく「切れる」性格であった）
- ② 履歴的出来事：これまでの経験や行動の履歴（成績が悪くなかった、仕事をよく覚えていた、機会を掴んでいた、上司と信頼した、交番の位置を確認していた）
- ③ 環境的出来事：直前の状況（股りからかれた）やその場にあった状況（廊りに人の気配がなかった）



STEP UP! ① 相関関係と因果関係

図表だけでは、ある原因のもとでは結果としてある行動が起こり、別の原因では起こらないといった、原因と結果の関係を系統立てて試すことができないのである。このことを理解するために1つの例を挙げてみよう。

ある人が胃潰瘍になったとする。そして胃潰瘍になる前に、その人は親毛症になっていたとしよう。この人のように、親毛症から胃潰瘍というような連鎖が起きるケースが多くなると観察されるならば、親毛症は胃潰瘍の原因であると主張できるのだろうか。

多くの読者は、そんな因果関係はないというだろう。そしてむしろ

ここがポイント

- CASEやPOINT, STEP UP!などの豊富なツールで学びをサポート
- 基礎から応用までレベル別の演習問題も用意。アクティブに取り組めます。

大坪庸介, アダム・スミス 著



英語で学ぶ社会心理学

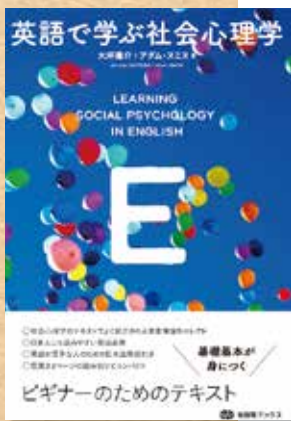
有斐閣ブックス A5判 164頁 本体2400円+税 978-4-641-18436-7



- 英語でなんてムリ! と敬遠する人も、まずこの一冊から始めてみよう。
- 社会心理学の重要理論をセレクトし、見開き2頁読み切りで解説。
- 日本人にも読める英語表現/英語が苦手な人の為の日本語解説付き。

目次

- Chapter1 : **Introduction to Social Psychology** : 社会心理学とは
 Chapter2 : **Self** : 自己
 Chapter3 : **Social Cognition** : 社会的認知
 Chapter4 : **Impression Formation and Interpersonal Attraction**
 : 印象形成と対人魅力
 Chapter5 : **Emotions** : 感情・情動
 Chapter6 : **Attitudes and Persuasion** : 態度と説得
 Chapter7 : **Social Influence** : 社会的影響
 Chapter8 : **Intergroup Relations** : 集団間関係
 Chapter9 : **Prosocial Behavior** : 向社会的行動
 Chapter10 : **Antisocial Behavior** : 反社会的行動
 Chapter11 : **Cultural Psychology** : 文化心理学



2017年12月刊

日本心理学会 監修, サトウタツヤ・鈴木直人 編



心理調査の基礎

A5判 198頁 本体1900円+税 978-4-641-17428-3



- 「心理調査士」標準カリキュラム対応!
- 心理調査の歴史から研究倫理まで幅広い内容をカバー。
- テキスト採用者には図版データを提供します。

目次

- 第1章 心理調査の基本的考え方と歴史
 第2章 心理統計の基礎
 第3章 調査
 第4章 実験
 第5章 観察
 第6章 面接
 第7章 尺度構成
 第8章 検査
 第9章 実践と倫理



2017年4月刊

筒井美紀・遠藤野ゆり 編

New ベストをつくす教育実習★

強みを活かし実力を伸ばす

A5判 190頁 本体2000円＋税 978-4-641-17432-0



- 準備不足を不安に思っている教育実習生を救済する。
- 社会人としての常識レベルから指導案の作成までカバー。
- 指導実績を活かし、学生がやりがちなミスにダメ出しします。

目次

第Ⅰ部 教育実習に臨むための準備

- 第1章 教育実習の制度的側面
- 第2章 教師の資質とは何か
- 第3章 「教職専門性」の基礎を問われる実習生

第Ⅱ部 学習指導案の作成と授業展開の技術

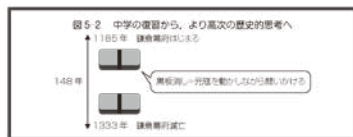
- 第4章 学習指導案の基本
- 第5章 学習指導案の3段階目標
- 第6章 学習指導案のレベル・アップ

第Ⅲ部 教職専門性の総合的なブラッシュアップ

- 第7章 学習指導案とリハーサル・模擬授業の往復
- 第8章 アクティブ・ラーニングの基本と実践
- 第9章 学校・生徒の実態と実習の課題



2017年9月刊



いま滅亡していったけど、鎌倉幕府が始まったのって、いつだったけ？ そうそう、愚問の一番後ろで声が出たね。1185年。源頼朝が全国に守護・地頭を配置し始めた。じゃあ、滅亡はいつ？ ○○さん？ わからない？ じゃあ、語呂合わせ、『一休放々、北条氏』(わかった！ 1333年) そう、1333年。鎌倉幕府は1185年から1333年まで続いた。じゃあ、この間は何年かな？ お、K君、計算が早いね。そう、148年。

じゃあ、元寇っていつ起こったの？ 四択でいい。鎌倉時代の前半の前半、前半の後半、後半の前半、後半の後半。(※手) はい。答えは後半の前半。1274年が文永の役、1281年が弘安の役、1333～1281＝52。半世紀もあるよ。つまり、元寇が鎌倉幕府の滅亡に影響したんだ、といっても、あいが半世紀もあったら、他にもいろいろな原因があって、それらが絡まっていたらう。と考えられるよね。(図5-2)

多くの生徒は、『元寇→御家人の不満→一應政令で幕府の動向→幕府崩壊』という『歴史の流れ』を暗記します。それはパターン暗記にすぎません。けれども、上述のような問いかけをしておく、因果関係を深く考える面白さを味わうよう、いざなえます。

1274年に文永の役、という知識が出てきたときに、生徒に1274～1185＝89と計算させて『鎌倉幕府が成立してから何年経ってからの元寇が初めてきたんだ。幕府成立5年後なんかついたら、滅亡はもっと早かったかも』とか、1281～1274＝7と計算させて『元寇が初めてくるまでに7年も経っていたんだ。いつ頃めてくるのと不安だったろうな。でも、もう頃めてこないか』

ここがポイント！

- 既存のテキストと比べて、圧倒的にやさしく、具体例も豊富にまとめました。
- 「実習にはとても行かせられない」という水準の学生もなんとかできるように応援します。
- 成功例と失敗例、その両方から学べるので、事前に実習のイメージがわきます。

New 教育をよみとく ★

教育学の探究のすすめ

四六判 212頁 本体1500円+税 978-4-641-17429-0

Compact

- これを読めば、教育をめぐる問いへの向き合い方が変わります。
- Part I では、教育問題の主要なトピックをその盲点から解説。
- Part II, III では、思考法・探究のいろはを伝授します。

目次

1 講次 探究的学びのすすめ

Part I 教育問題の問い方

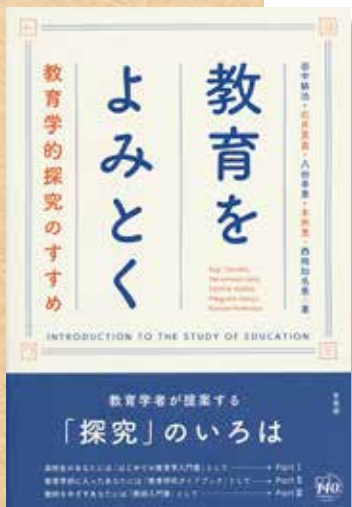
2 講次 早期教育 / 3 講次 学力低下 / 4 講次 いじめ / 5 講次 個性尊重 / 6 講次 格差

Part II 探究の営み

7 講次 問いを立てる / 8 講次 調べる / 9 講次 フィールドに行く / 10 講次 学び合う / 11 講次 深める / 12 講次 論じる

Part III 教師をめざすあなたへ

13 講次 教師の仕事 / 14 講次 授業をつくる教師の力 / 15 講次 教わる立場から、教える立場へ



2017年4月刊

ここがポイント!

- 高校生のあなたには
「はじめての教育学入門書」として
→Part I
- 教育学部に入ったあなたには
「教育研究ガイドブック」として
→Part II
- 教師をめざすあなたには
「教師入門書」として
→Part III

2

早期教育

何ごとも早い時期から教えたほうがよいのか？

はじめに

「ピアノや英語の学習はできる限り早く始めたほうがいい」「小学校に入る前に数字やひらがなを書けるようにしておかない」といった声に、ほかの子にまれをとってはいけないと早期教育を考える親御さんも多いでしょう。また、「子どもの〇〇は××歳までで止まる」といった言説がそうした不安をあおり、「英語力がつきます」「絶対音感がつきます」といったうたい文句の幼児教室なども散見されます。

たしかに、幼児期の環境の重要性や幼児教育への投資の必要性は、さまざまな実証研究が示しているところです。しかし、何ごとも早い時期から教えたほうがよいのでしょうか。逆に、そうして学習を早期に始めることの弊害はないのでしょうか。幼児教育を真に重視するとはどういうことなのでしょう。ここではこれらの問いについて考えてみましょう。

1 早期教育の盲点

小学校に入学する前に、数と文字を覚えておかないと学校で子

福元真由美 編

New はじめての子ども教育原理★

有斐閣ストゥディア A5判 244頁 本体1800円＋税 978-4-641-15036-2

Compact

- ・小学校・幼稚園教員免許／保育士資格の必修科目「教育原理」のやさしい入門テキスト。
- ・QUESTIONやエピソード、POINTなど、学習を助けるツールも充実。

目次

序 章 子ども教育ってなんだろう？

第1部 子ども教育の基本

第1章 子ども教育の遊びと学び

第2章 子どもが育つ環境——学びをつむぐ豊かな環境とは

第3章 子どもの発達——発達を支え、促す学びの方法

第4章 子ども教育者という仕事——ともに学び育つために

第2部 子ども教育の理念と歴史

第5章 子ども教育の系譜——子どもはなぜ園・学校に通うのか

第6章 子どもという存在——子どもはいかに発見されたか

第7章 子ども教育について考える——先人たちの知恵に学ぼう

第8章 子ども教育を支える仕組み——豊かな学びを実現するために

第3部 子ども教育の現代

第9章 気になる子の理解と対応——子どもの問題にどう向き合うか

第10章 子どもの育ちと学びをつなぐ——幼児期から児童期へ

第11章 これからの社会と子ども教育——どんな大人に育ってほしいか



2017年7月刊

筒井美紀 著

殻を突き破る キャリアデザイン★

就活・将来の思い込みを解いて自由に生きる

四六判 220頁 本体1700円＋税 978-4-641-17425-2

Compact

- ・就職活動に臨むすべての学生が知っておくべきコツがわかります。
- ・各章にクイズ、練習問題、コラムを豊富に盛り込み、ゼミの議論に対応。
- ・教育・労働社会学の基本知識も「ですます」調で伝えます。

目次

第1部 自分とその周りから考える

第1章 「キャリア教育」とどう付き合うか？——大人の言うことを真に受けなくてもいい

第2章 そのエントリーシート、中学生の作文！？——けれどもそれを直せない

第3章 わが子を未熟にする大人一親を突き放す優しさが要る

第2部 社会のなかを手探りで進む

第4章 社会人はどんなふうにいるの？——実は知らない多様な生き方

第5章 どうしても働かなきゃダメ？——でも、同じことを訊かれたら？

第6章 機械が取って代わるジョブ——じゃあ、いま何を学べばいいの？

第7章 社会には扶けてくれる他者がいる——そして扶け合う人になる

第8章 キャリアデザインを人生に活かす——まずは相手に譲ること



2016年11月刊

田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵 著



新しい時代の 教育課程

第4版



※書影は旧版のものです。



2018年3月刊行予定

有斐閣アルマ 四六判 予定356頁 予価1900円+税 978-4-641-22107-9

- 教職を目指す学生や現職教員の為に書かれたロングセラーテキスト。
- 新学習指導要領や近年の新しい動向（道徳や英語教育の教科化、アクティブラーニング、カリキュラム・マネジメント等々）をふまえて第4版化。

目次

序 章	今なぜ教育課程なのか	第5章	教育課程の編成
第1章	近代日本の教育課程の歩み	第6章	カリキュラム・マネジメント
第2章	現代日本の教職課程の歩み	第7章	社会における教育課程
第3章	教育課程開発の新しい動き	第8章	今日的課題への挑戦
第4章	教育課程の思想と構造	第9章	諸外国の教育課程改革

関口礼子・西岡正子・鈴木志元・堀 薫夫・神部純一・柳田雅明 著



新しい時代の 生涯学習

第3版



※書影は旧版のものです。



2018年3月刊行予定

四六判 予定312頁 予価2100円+税 978-4-641-22106-2

- 新しい動向をふまえ内容・構成ともに改訂（学習相談等を追加）
- 社会教育主事、公民館主事、図書館司書、博物館学芸員をめざす人必読のテキスト。

目次

第1章	今なぜ生涯学習がクローズアップされるのか	第9章	女性の生涯の変化は男女にどのような学習を求めるか
第2章	人は発達段階に応じて何を学ぶか	第10章	人口の高齢化は学習をどう変えるか
第3章	就職すると人はどのような学習をするのか	第11章	情報技術は学習をどう変えるか
第4章	情報からの学習	第12章	グローバル化は学びをどう変えているのか
第5章	「もの」からの学習	第13章	学校を開くことと生涯学習
第6章	地域の場合からの学習	第14章	生涯学習の方法
第7章	地域の人々の相互学習	第15章	生涯学習の重視は社会の仕組みを変える
第8章	教育によらない強力な学習		

都筑 学 著

大学1年生のための 伝わるレポートの書き方★

四六判 168頁 本体1400円＋税 978-4-641-17420-7

Compact

- ・レポートを書くときのちょっとしたコツを、読みながら身につけられます。
- ・書くことに苦手意識のある学生に、柔らかな語り口で楽しさを伝えます。
- ・調べる、考える、書いて伝えるの3つの段階に分けて、じっくり進みます。

目次

序 章 レポートを楽しんで書くコツ

第1章 調べる—Input

第1章 知的好奇心をもつ 第2章 批判的なまなざしを養う

第3章 徹底的に調べる

第2部 考える—Construct

第4章 コンセプトを明確にする 第5章 柱立てをつくる

第6章 論理の一貫性を大事にする

第3部 書いて伝える—Output

第7章 厚みのある文章を書く 第8章 科学の世界の文章作法を知る

第9章 効果的に伝える・見せる

終 章 書くことの楽しさを身につける



2016年4月刊

伊藤奈賀子・富原一哉 編

★大学での学びをアクティブにする アカデミック・スキル入門★

有斐閣ブックス A5判 204頁 本体1700円＋税 978-4-641-18430-5

Compact

- ・「学ぶ・表現する技術（アカデミック・スキル）」を身につけ、大学生活を充実させるための第一歩。
- ・書き込み欄を設け、実際に手を動かしたりグループで協働したりしながら主体的に授業に取り組む「アクティブ・ラーニング」型のテキスト。

目次

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 授業の進め方と本書の位置づけ | 8 テーマと活動の見直し |
| 2 メモを取る | 9 調査・分析結果のまとめ方 |
| 3 テーマの考え方・決め方 | 10 プレゼンテーションの要点(1)
：資料のつくり方 |
| 4 図書館活用法
：資料検索・資料収集 | 11 プレゼンテーションの要点(2)
：話し方 |
| 5 文章の読み方 | 12 プレゼンテーションの要点(3)
：効果的な質疑応答 |
| 6 プレゼンテーションの構成や
引用規則、参考文献の示し方 | 13 まとめ：さらなる学びのために |
| 7 発表の聴き方、質問の仕方 | |



2016年3月刊

井手英策・宇野重規・坂井豊貴・松沢裕作 著

New 大人のための社会科★

未来を語るために

四六判 250頁 本体1500円＋税 978-4-641-14920-5



- 日本社会を切り取る12のキーワード。ゼミや初年次教育にぴったり!
- Facebookページで常に授業に役立つタイムリーな素材を提供
- 古典を含む豊富な文献の引用で、次の学習につながる

目次

序 社会をほどこき、結びなおすために

第I部 歴史のなかの「いま」

- 第1章 GDP
- 第2章 勤 労
- 第3章 時 代

第II部 〈私たち〉のゆらぎ

- 第4章 多数決
- 第5章 運 動
- 第6章 私

第III部 社会を支えるもの

- 第7章 公 正
- 第8章 信 頼
- 第9章 ニーズ

第IV部 未来を語るために

- 第10章 歴史認識
- 第11章 公
- 第12章 希 望



2017年9月刊

〈Facebook ページ〉

<http://www.facebook.com/otoshaka/>

有斐閣のテキストはウェブサポートが充実!

- 練習問題の解答例がみられる
- 統計データや、数式の展開など、本を補足するデータがみられる
- 講義用スライドや図表データを入手できる
- 正誤表で最新の状態が確認できる

※すべての本に対応しているわけではありません

※ご利用にあたって、お申し込みが必要なものもあります

こちらへアクセス→有斐閣ホームページ

<http://www.yuhikaku.co.jp/websupport>



ウェブサポートを提供している本

掲載頁	書名	ウェブサポートの内容
9	問いからはじめる社会福祉学	「はじめに」の公開／統計データ等のリンク集
14	英語で学ぶ社会心理学	英文ページの全訳と図版データ (テキスト採用者向けにメールで提供)
14	心理調査の基礎	図版データ (テキスト採用者向けにメールで提供)
20	大人のための社会科 未来を語るために	文献案内／Facebookページで動画や記事など学習素材を提供

*採用見本献本のご依頼は有斐閣営業部まで

eigyo@yuhikaku.co.jp

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

*メールでのご依頼の際には、献本希望商品の書名のほか、お名前／送付先ご住所／所属大学／採用予定大学・学部／採用予定講義名をご明記くださいますよう、お願いいたします。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 TEL 03-3265-6811/FAX 03-3262-8035